入札公告の訂正

次のとおり訂正します。
令和３年４月15日
支出負担行為担当官
海上保安庁総務部長　宮澤　康一
支出負担行為担当官
気象庁総務部長　藤原威一郎
◎調達機関番号　020　◎所在地番号　13
①特物契第1076号　②特物契第1077号　③特物契第1078号　④特物契第1079号
1　掲載日
令和３年２月17日（号外政府調達第31号）
2　訂正内容
９ページ１段目42行目から９ページ２段目５行目を削除し、
①　重油買入（光洋　海洋分）１回目　約165ＫＬ
②　重油買入（明洋　平洋　光洋分）２回目　約655ＫＬ
③　重油買入（凌風丸　天洋　拓洋　海洋分）３回目　約330ＫＬ
④　重油買入（明洋　拓洋　啓風丸分）４回目　約420ＫＬ
を加える。
９ページ２段目12行目から14行目を削除し、
①　令和３年５月８日
②　令和３年６月12日
③　令和３年６月16日
を加える。
９ページ２段目17行目に「及び気象庁観測船」を加える。
９ページ４段目５行目から６行目を削除し、
③　令和３年５月10日17時00分
④　令和３年６月３日17時00分
を加える。
９ページ４段目11行目を削除し、
③　令和３年５月20日17時00分
を加える。
９ページ４段目16行目を削除し、
③　令和３年５月21日14時00分
を加える。
10ページ１段目10行目「215ＫＬ」を「165ＫＬ」に、12行目「930ＫＬ」を「655ＫＬ」に、14行目「25ＫＬ」を「330ＫＬ」に、16行目「160ＫＬ」を「420ＫＬ」に訂正する。
10ページ１段目18行目から20行目を削除し、
①　8 May 2021
②　12 June 2021
③　16 June 2021
を加える。
10ページ２段目15行目を削除し、
③　17:00, 20 May 2021
を加える。

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。
本入札公告に記載の工事は、技術資料を共通化できる３件の工事を対象に、一括して公告し、審査を実施する試行工事である。
本件の入札にあたっては、電子入札システムにおいて３件の工事が別々に案件登録されているので、複数の工事に参加を希望する場合は、参加を希望する工事毎に申請書の提出及び入札が必要である。
令和３年４月15日
支出負担行為担当官
中部地方整備局長　堀田　　治
◎調達機関番号　020　◎所在地番号　23
○第１号
1　工事概要
⑴　品目分類番号　41
⑵　工事名
①　令和３年度　１号清水立体尾羽第２高架橋鋼上部工事（電子入札対象案件）（電子契約対象案件）
②　令和３年度　１号清水立体尾羽第３高架橋鋼上部工事（電子入札対象案件）（電子契約対象案件）
③　令和３年度　中部縦貫下切高架橋鋼上部工事（電子入札対象案件）（電子契約対象案件）
⑶　工事場所
①　静岡県静岡市清水区尾羽
②　静岡県静岡市清水区尾羽～庵原町
③　岐阜県高山市中切町
⑷　工事内容
①　工事延長　Ｌ＝300m、鋼４径間連続箱桁橋（橋長　Ｌ＝233.0m）、鋼材　約2,048ｔ、工場製作工　１式、鋼橋架設工　１式
②　工事延長　Ｌ＝440m、鋼７径間連続箱桁橋（橋長　Ｌ＝374.5m）、鋼材　約1,460ｔ、工場製作工　１式、鋼橋架設工　１式
③　工事延長　Ｌ＝330m、鋼５径間連続箱桁橋（橋長　Ｌ＝319.5m）、鋼材　約1,320ｔ、工場製作工　１式、鋼橋架設工　１式
⑸　全体工期
①　契約締結日の翌日から令和６年２月22日まで
②　契約締結日の翌日から令和５年11月30日まで
③　契約締結日の翌日から令和５年９月29日まで
（但し、①～③令和３年10月18日までに工事の始期を設定すること）
工事を施工しない日　設計図書のとおり
工事を施工しない時間帯　設計図書のとおり
本工事は、受注者が全体工期内で工事の始期及び終期を任意に設定することができるフレックス工期を採用した工事である。
工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等を配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。
⑹　使用する主要な資機材
①　鋼材　約2,048ｔ
②　鋼材　約1,460ｔ
③　鋼材　約1,320ｔ
⑺　本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
⑻　本工事は、特定建設工事共同企業体の資格の認定を受けている者（特定ＪＶ）と、一般競争参加資格の認定を受けている者（単体企業）が競争参加することができる、いわゆる「混合入札」の方法によるものである。
⑼　本工事は、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式のうち、企業・技術者の能力等、品質確保のための体制、その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式（技術提案評価型Ｓ型）の試行工事である。
なお、上記取り組みの詳細については、国土交通省中部地方整備局　ホームページアドレス：https://www.cbr.mlit.go.jp/
「公開情報」－「入札・契約情報」－「工事」－「総合評価運用ガイドライン等（工事関係）」に記載されているとおりである。
⑽　本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の対象工事である。
⑾　本工事は、入札書及び技術提案書等の同時提出を行う工事である。
⑿　本工事は、施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取り組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。
⒀　本工事は、完全週休２日を確保した施工を実施する試行の対象工事である。完全週休２日を確保出来た場合に工事成績評定点において評価する。
また、本工事の完成時に、完全週休２日取組認定証が発行された場合、中部地方整備局で発注される総合評価の評価項目において加点対象とする工事である。
なお、完全週休２日取組認定証は、対象期間中の全週間数に対して、休日対象日を現場閉所とした週間数の割合が70％を超えた場合に発行する。
また、提出された工程表が週休２日の取得を前提としていないなど、明らかに、受注者側に週休２日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、内容に応じて、工事成績評定実施要領の別紙様式第１における考査項目「７　法令遵守等」の「８　その他」の項目において、点数を減ずる措置を行うものとする。